

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターすまいるキッズ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 17人	(回答者数)	11人
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 13人	(回答者数)	12人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・室内を広くと使用することができ、緑の環境に囲まれながら自然体験を楽しめます。	・自然体験として、泥んこ遊びや戸外散策など肌や全身を通して季節を感じられるよう取組みを工夫しています。	・自然体験の他に、感覚刺激につながる道具や遊具などの設備が充実できるよう環境を整えていきたいです。
2	・保護者支援として、お子さまと一緒に療育に参加できる親子療育を実施したり、ご家族やご兄弟で参加出来る行事を開催し親子で充実した時間を過ごせるよう支援を提供しています。		・個別相談やペアレントプログラム等の開催によって、より子育ての頑張りを共感できるよう取り組んでいきたいです。
3	・自然に恵まれた環境で土に触れる機会を味わいながら、季節に合わせたいろいろな野菜づくりを経験出来ています。	・試食会や行事食等の取組みを通して、親子で食への興味関心を味わえるような食育を目指しています。 ・実際に野菜等の食材を育て、肌を通じて食への興味関心を育てています。	・偏食を認めながらも食への関心がより向上し、おいしと感じられるような食育活動を工夫したいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所が中学校跡地に入り、建物の古い印象が強い。	・建物の外観や見た目ではなく、支援内容や環境の質を充実できるよう教材や道具を整えていく必要がある。	・安全な環境で過ごせるための安全点検や対策など、安全管理に努めていきたいです。
2	・専門的な支援を行うための人材の確保と人材育成が課題。		・専門的な知識の向上を図るための研修会及び勉強会の強化を目指したいです。
3			

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	児童発達支援センターすまいるキッズ(児童発達支援)	公表日 令和8年2月27日
------	---------------------------	---------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・人数が多い時は部屋を分け人数調節している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・人数や状況に応じ、職員を多めに配置している。	・足りないと感じる時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・トイレにイラスト等を掲示したり、踏み台を使用して子どもが使いやすいよう配慮している。	・部分的なバリアフリーで十分ではない。 ・正面玄関が開け閉めしにくい。 ・トイレは大人用で、子どもに合っていない。 ・耐震や強度について、点検を行う必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	・バルサンを使用し、室内の消毒換気や天日干しなど行き清潔な環境で過ごせるよう工夫しています。	・室内絨毯の汚れ(排尿漏れ)やはがれが目立つ。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・クールダウンや個別学習が出来るような部屋を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎朝のミーティングで情報共有、意見等出し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者アンケート結果等、支援会議やミーティング等で周知、改善点など検討しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケートや面談の中で、個々の負担面を把握し、改善できる業務をスリム化しています。	・業務の改善や負担など今後も必要に応じて見直ししていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者による助言等は、外部からの専門者に施設支援として研修会や学習会を開催しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員がむらなく研修会に参加できるよう、スキルに合わせて適宜希望に応じています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・毎月のお便りの中に、活動プログラムを入れて保護者に周知しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者との面談での様子や園や学校等の関係機関との情報を共有しながら保護者のニーズに沿って計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援会議やモニタリングを含め課題等を職員間で出し合い計画に反映できるよう努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・本人の課題も含め、シンプルに分かりやすい内容での支援を踏まえて設定しています。	・保護者様に説明する際にも、分かりやすくシンプルに伝える事もあるが、どこに困りどうして欲しいのか等、しっかり聞き取りをしながら進める事も必要と感じています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・実際に子供たちと携わっている職員の意見も取り入れながら、活動の内容を検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・活動内容でよかった事などを共有し、進め方などを話しあいながら工夫したり、外部(理学療法士)からの助言等踏まえて工夫しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・時間に余裕がある時には個別に優先して取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・日によってクラスに入る職員が違う為、日により職員間で内容を共有したり、こまめに連携が出来る。毎朝のミーティングで振り返りを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・その日に出来ない場合もあるため、次の日の朝のミーティングで振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日誌として毎日一人一人個別に記録し、職員間で共有しています。	
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・職員間でモニタリングを実施。見直しや計画内容の変更などを職員間で共有しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達管理責任者に加え、担当職員も参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・公開療育時や地域連絡会などで、情報を共有したり、助言やアドバイスを支援に活かしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育所等訪問支援も取り入れ情報共有をしながら、実際にお子様に関わる職員にも共有し取り組んでいます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学前に、移行シートを作成し学校との情報共有をする場を設けています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・他事業所との交流会を通して、意見交換を含め交流し、今後の事業所間での課題を進めています。	・地域の保健師や福祉に関わる機関も含めた意見の場があるとより連携が出来ると思います。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・理学療法士さんに入って頂き、研修や振り返り勉強会などを開催し、支援に反映できるよう助言やアドバイスを頂いています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○		・役目や担当に応じて、子ども部会や子育て会には参加出来るよう調整しています。	・職員がむらなく部会に出席するのは現状難しい。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・園解放や保育所行事など交流できる機会を頂き、地域と触れ合うことが出来ています。(年1回)	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳や電話での連絡で様子をお伝えしたりしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・親子で療育に参加出来るよう年に2回の親子療育と個別相談会を開催し、保護者の相談援助等を行っています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・説明する際は、なるべく分かりやすい表現で具体的にお伝えしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・時期を見ながら、必要に応じて面談を実施し家庭での様子をお聞きし、気になることや困りに寄り添える対応に努めています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・行事の際には、保護者並びに兄弟児への参加を呼びかけ、保護者同士での交流や兄弟間での交流できる場を提供しています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者様からの相談や苦情等については、その日のうちに対応し、担当者が不在の場合についても連携を図り対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月のお便りを発行し、保護者様に周知しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・事業所の行事に地域のお子様や校区民や地域の学校に招待し、一緒に交流出来る場を設けています。また高校生のボランティアを要請し地域交流を図っています。	・学校の行事等や参加される方が少ない現状があり、地域との繋がりは、地域の方に来て頂く事をまず初めていければと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・保護者説明会の際に、資料を添付し説明を行い毎月の避難訓練は必ず実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・契約時にお子さまの状態や服薬等についての確認を行い、状況など把握する。職員間においてもミーティングで確認をしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食物アレルギーがあるお子様に関しては、給食の提供が出来ない事を事前にお伝えし、お弁当を持って来てもらうように対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時の際に、お子様の状態等確認し、保護者とも対応の仕方を共有しています。また職員間でも安全の確保について共有する場を設けています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎日のミーティングで、情報の共有をし、対応策など話し合いの場を設けています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・支援会議等で虐待についての研修を実施し、内容についても職員間で共有しています。	・法人内での委員会で、全体的な研修もあつたりするが、事業所においても、専門的な講師等の講話等があればと思います。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・どのような状況でどんな場面で身体拘束としての対応となるのか契約時のご説明と同意書にサインを頂いています。 ・実際に該当する場合は記録を残しています。		

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターすまいるキッズ (児童発達支援)

公表日 令和 8年 2月 27日

世帯数 17人

回収数 12人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	○				楽しみながら学ぶには十分なスペースだ と思います。	戸外やグラウンドなど広いスペースを使いお子様がのびのびと 活動出来るようになっています。冬場については、十分に体を 動かし活動出来るプレイルームを活用しています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。		○			子ども達が安全に過ごすための人数は そろっていると思います。	人員は利用される子どもの人数や定員に合わせて配置して います。お子さまに目が行き届くよう職員配置を多めに対応 しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境 になっていると思いますか。また、事業所の設備等 は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等 への配慮が適切になされていると思いますか。		○			地震などの耐久性が少し気になりま す。	階段手摺及び玄関にスロープを設置し、車椅子でも安全に 移動できるよう安全面に配慮しています。 設備の改修については、随時必要に応じて修繕し対応して います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた 空間となっていると思いますか。		○			参観や行事等がないと事業所内や子 どもの様子がよく分かりません。	各療育室は視覚的に刺激の少ない環境を整え、換気や消 毒を行いながら衛生面にも十分に留意しています。 今年度は感染症流行等により、行事の中止がありました。 また年2回の親子療育を、平日開催しているため次年度に ついては、土曜日開催も計画してよりたくさんのご家庭に参 加頂けるよう工夫していきます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	○					保育士または児童指導員など、長年児童の支援の携わって 頂きながら個々に応じて寄り添える支援に努めています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思 いますか。				○		令和6年度の法の改正により、支援内容を示すプログラム を作成し、今年度よりホームページにて公表しています。 掲載状況を十分に周知出来ていませんでしたので、公開情 報について明確に致します。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズ や課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 (個別支援計画)が作成されていると思 いますか。		○			誤字が多いため、前回のコピーな のかなと思うことがあった。	誤字脱字については十分に注意していきます。支援計画は 達成度によって、前回の支援計画と同じ目標で継続して支 援する場合があります、ご家族のニーズや地域生活での困り感な ど、目標や課題など共有しながら支援計画に反映するように しています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこ どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、 具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。					○		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。					○	楽しみながら出来ることが増えている。	支援計画を通して個々の目標や配慮する内容などを家族 の方に説明しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思 いますか。	○					様々な活動があり、本人も良い刺激を 受けています。	季節の行事や社会体験などを取り入れ、実体験を経験する 事で学びながらスキルの獲得を目指しています。
11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他 地域で他の子どもと活動する機会がありますか。		○					園解放を利用して、地域の園での遊びの共有が出来るよう 連携を図り実施しています。(日程はお便りで報告)	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、 利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○				相談員や事業所から説明を受けていま す。	食事代や利用料また加算金などの負担金について、契約 時、又随時必要に応じて内容を説明しています。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明 がなされましたか。		○			入所時の面談で説明を受けました。 最初のみ説明を受けました。	利用開始にあたって、児童発達支援の運営規定に基づく重 要事項説明書と合わせて支援計画の内容を説明していま す。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や 情報提供の機会等が行われていますか。		○				ペアレントプログラムは実施できていないため、再開に向け て計画中です。また保護者勉強会として、6月に未就学児対 象に就学についての説明会を、3月に全保護者を対象に歯 科についての講話の開催を予定しています。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	○		日々の送迎や連絡帳にて、その都度様子について連絡共有しています。	日々の様子について、連絡ノートを活用し、活動や行事等の写真を合わせて添付しています。お子様の伸びや課題点についても必要に応じその都度ご家族と相談しながらよりよい支援に繋げています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○			お子さまの事で気になる事や就学に向けてのご相談など随時面談を実施し、必要な相談援助を行っています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。			○	親切、丁寧に支援頂いていると感じます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			○		時期によって感染症の予防のため行事が中止することもあります。行事の開催には兄弟児への参加をつくり家族全員でイベントを楽しめるよう企画しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。			○		相談を受けた場合は電話連絡や面談の実施する等対応しています。相談内容に応じて、出来る範囲でご希望に合わせてサービス提供出来るように努めています。保護者支援として、相談援助が受けられるサービス提供について契約時にご説明させて頂いています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。			○		必要な連絡や情報提供などは電話連絡や案内文を配布する等必要に応じて対応しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。			○	インターネットではなく、紙媒体でのやりとりがほとんどです。ホームページ、SNSが更新されていることを知りませんでした。	毎月の行事予定や活動内容についてのお知らせや感染症などの情報提供及び保健だより等発行しています。季節に応じた給食のメニューや食事に関する情報等も給食便りとして発行しています。SNS等は更新していませんが、自己評価等の結果については、ホームページ掲載についてご家庭に通知したうえで公表しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○			厳重に扱って下さっている印象です。	契約時において個人情報の取り扱いについてご説明し、各関係機関と情報共有について同意書の提出にご協力頂いています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。			○		感染症や緊急時の対応マニュアルについては保護者説明会の添付資料として配布しています。又保護者の方を含めた避難訓練は実施できていないため実施に向けては十分な準備計画を検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○				災害に応じた内容で避難訓練及び模擬消火訓練を毎月実施し、年2回消防立ち合いによる通報、初期消火訓練を実施し安全管理に努めています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。			○	建物の老朽化が気になります。	事業所内で安全に過ごせる環境を整備するために、建物内外の安全点検や消防立ち合いにおいて設備点検を受けています。また安全管理として、安全計画の作成が義務付けられ、見直しや修正を行いながら策定しています。
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。			○	おたより等で、ヒヤリハットについての報告があります。	事業所内での怪我や事故等は、緊急を要する通院等についても事業所に対応しています。また保護者の方へのご連絡及びご報告についても迅速に対応しています。療育中の怪我等については、毎月のお便りの中で発生状況や件数について掲載しています。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	○			喜んで迎える車に乗車します。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	○				心身の安定を目標としながら、のびのびと過ごして頂くために療育内容を工夫し、安心安全な環境を提供しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○			子どもの日々の成長を感じるがあります。	